

2022年度個人投資家向け説明会

2022年6月18日

Circulate
the possibilities



株式会社アサカ理研

証券コード：5724

1. 会社概要
2. 事業概要
3. LiB再生事業
4. TOPICS
5. 株主還元

1. 会社概要
2. 事業概要
3. LiB再生事業
4. TOPICS
5. 株主還元



「都市鉱山」から貴金属を回収する

資源再生メーカー

他企業との連携を図り、独自の技術を活かして
「Lithium-ion Battery to Lithium-ion Battery」
(LiB to LiB) を実現

1971年

金の回収技術を開発
プリント基板からの金回収



1985年

システム開発・販売開始



2008年

JASDAQ上場
(2022年4月より
スタンダード市場移行)



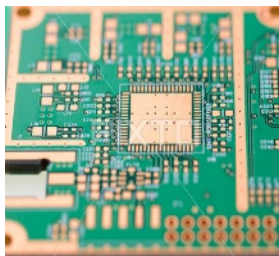
2019年

LiB計画本格参入



1969年 創業

当初は従業員4人
環境事業から始まる



1995年

洗浄分野へ
新規参入



2014年

いわき工場設置



2022年

新社屋（第一本社棟）
竣工



商号	株式会社アサカ理研
創業	1969年（昭和44年）8月
本社所在地	福島県 郡山市
資本金	504百万円
従業員数	197名（連結）
子会社	連結子会社 2 社
証券コード	5724 東京証券取引所スタンダード
単元株式数	100株



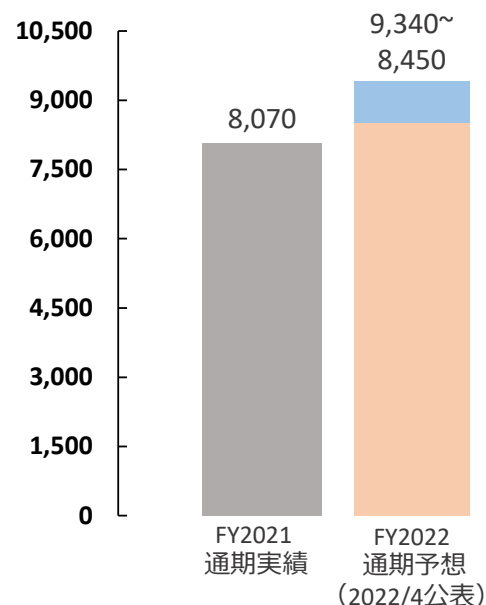
会社概要 業績予想と前期比



(百万円)

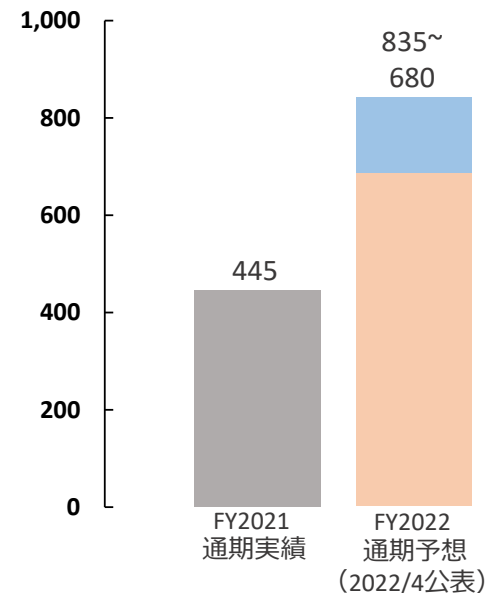
	FY2021 通期実績	FY2022通期予想 (4月公表)		前期比	
		上限	下限	上限	下限
売上高	8,070	9,340	8,450	16%	5%
営業利益	419	860	705	105%	68%
経常利益	445	835	680	87%	53%
(利益率)	6%	9%	8%	3.4pt	2.5pt
親株主に帰属する 当期純利益	377	635	520	68%	38%

(百万円)



売上高

(百万円)

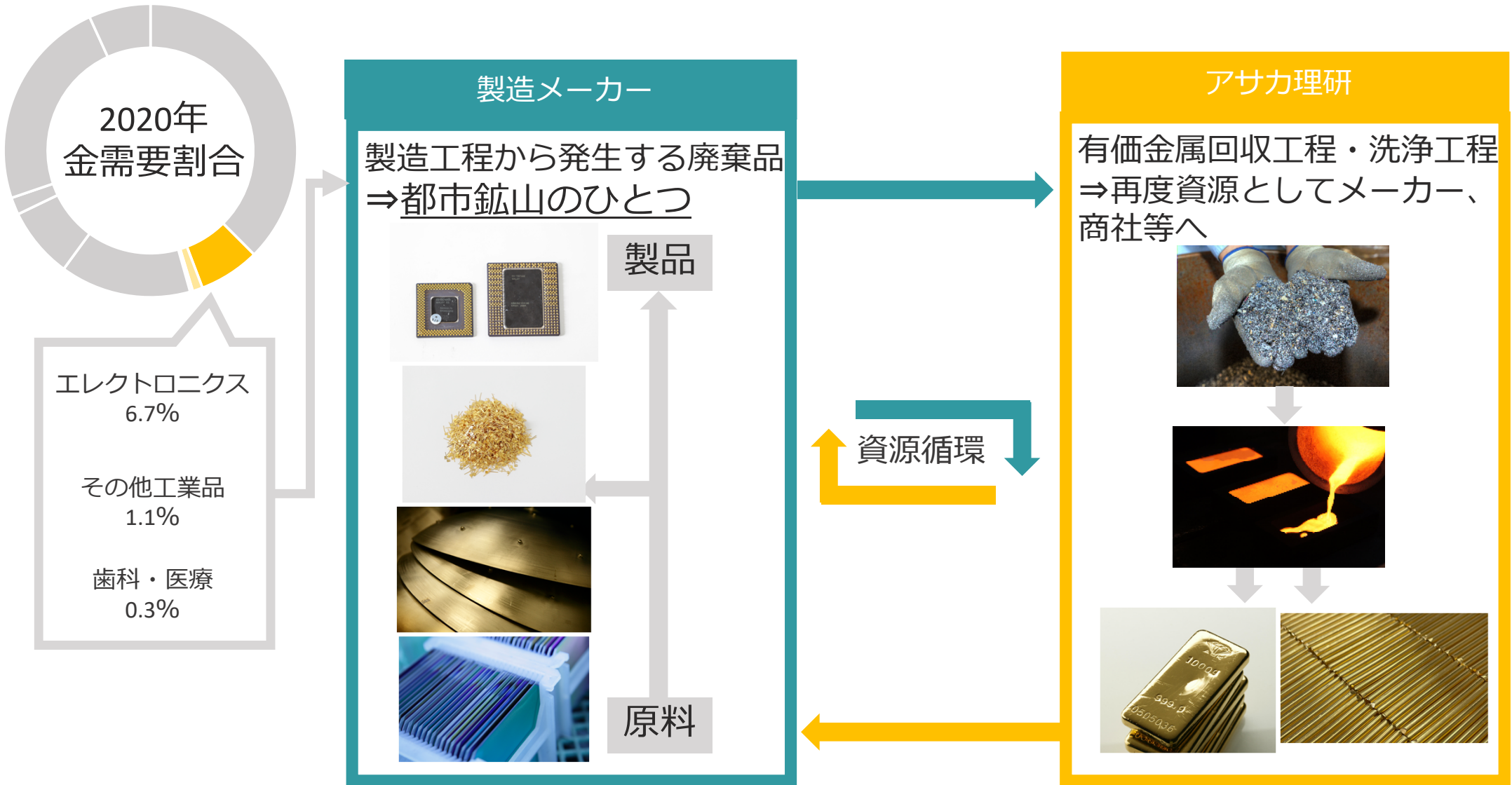


経常利益

- + 主要取引先からの貴金属集荷量の増加
- + 貴金属及び銅の価格が前期を上回る
- + 銅ペレット販売数量の増加

1. 会社概要
2. 事業概要
3. LiB再生事業
4. TOPICS
5. 株主還元

事業概要 貴金属事業①



出所：一般社団法人 日本金地金流通協会

copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

世界の金産出量 (2021年)

3,000t

世界の金埋蔵量* (2021年)

54,000t

※埋蔵量：経済的に回収可能な量

引用：USGS 「MINERAL COMMODITY SUMMARIES 2022」

現状ペースで産出し続けると
金埋蔵量の枯渇まで

おおよそ18年

すでに産出され、製品に使われている資源を
有効に活用すること、再生することが重要

ASK独自のコア技術

- 分離・精製技術
 - スピーディな回収精製
 - 高い回収率
- 選択的剥離技術
 - 独自の薬液配合
 - 溶解速度コントロール
 - 母材を傷めない



取引先メリット

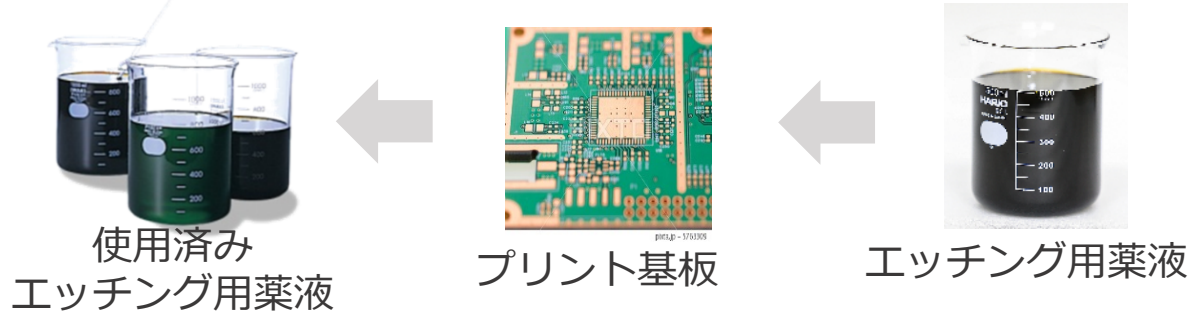
- 高回収率
- 短納期
- 高品質洗浄
- ニーズに合わせて加工

⇒**価格競争力に直結**

**水晶・半導体業界など
全国のお客さまとお取引**

取引先（プリント基板メーカー）

エッチング工程で使用済エッチング用薬液が発生



使用済み
エッチング用薬液

プリント基板

エッチング用薬液

集荷

新液供給

1. 創業以来築いてきた信頼と実績
2. 東北地方で高いシェア
3. 塩化第一・第二鉄液は沈降剤として利用

アサカ理研

廃液回収

銅回収

製造工程



3.

塩化第一・
第二鉄液



銅ペレット



下水処理場 工場廃水処理



鉄鋼メーカー



製造メーカー



メリット

1. 測定データの入力ミス・改ざんを防止
2. データ処理・分析時間の短縮
3. 様々なメーカー機器データの一元管理

貴金属事業・環境事業で
利用可能な品質管理システム構築
⇒のちに事業として発展

解決策の提供

受注・リピート

アサカ理研

品質管理システム
[Mr.Manmos]



提供する価値

- ✓測定データをダイレクトに入力
 - ・入力ミス・改ざんの予防
- ✓多彩なデータ処理機能
 - ・解析作業の簡素化
- ✓データ解析機能
 - ・不適合品の兆候分析 等々

1. 高いインターフェイス技術

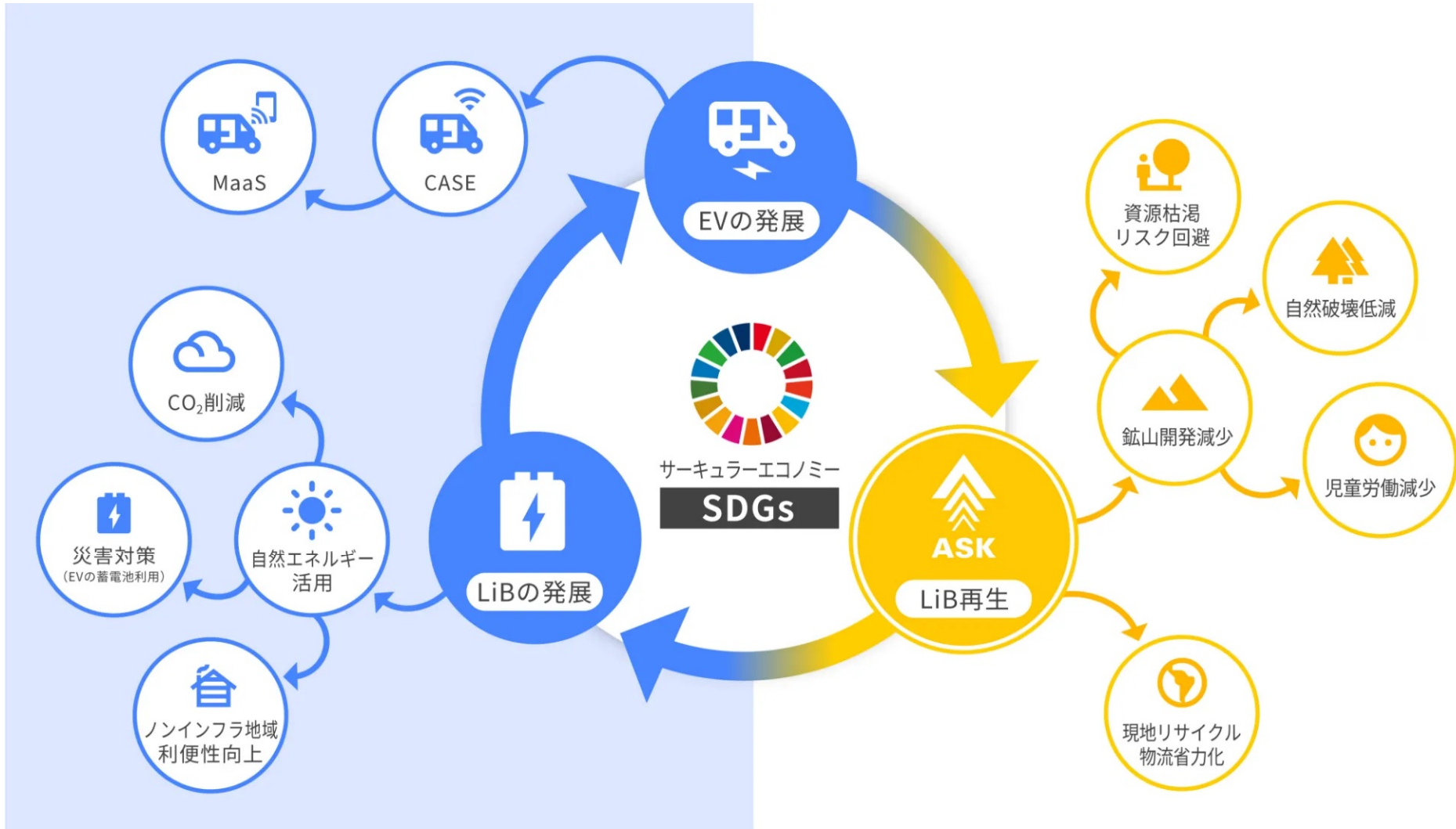
2. 品質管理システムに特化

3. 導入実績

全国**200**以上の製造現場

1. 会社概要
2. 事業概要
- 3. LiB再生事業**
4. TOPICS
5. 株主還元

事業概要 LiB再生事業① 概念図



事業概要 LiB再生事業② 各国の動向



日本、EU、アメリカ、中国のカーボンニュートラル表明状況

(経済産業省 資源エネルギー庁「第2節 諸外国における脱炭素化の動向」)

2030

- 東京 – 乗用車新車販売の100%を非ガソリン化※5
- アメリカ – 2030年に販売される乗用車・小型トラックの50%をZEVに※6
- 中国 – NEV販売比率を40~50%へ

2035

- 日本 – 乗用車新車販売で電動車100%に※7
- EU – HVを含むガソリン車の新車発売を原則禁止※8

EVに関する各国の政策

※5 東京都「2030年カーボンハーフに向けた取り組みの加速」 https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/dbook/202202/carbonhalf/2022-02_tokyo_carbonhalf/#page=23

※6 ホワイトハウス「Executive Order on Strengthening American Leadership in Clean Cars and Trucks」 2021.8.5

<https://www.whitehouse.gov/briefing-room/presidential-actions/2021/08/05/executive-order-on-strengthening-american-leadership-in-clean-cars-and-trucks/>

※7 経済産業省「2035年までに乗用車新車販売で電動車100%に」 https://www.env.go.jp/policy/roadmapcontents/cn0007_9.pdf

※8 ビジネス短信「欧州委、2035年までにすべての新車のゼロエミッション化提案」 <https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/07/d870a9cd8282f522.html>

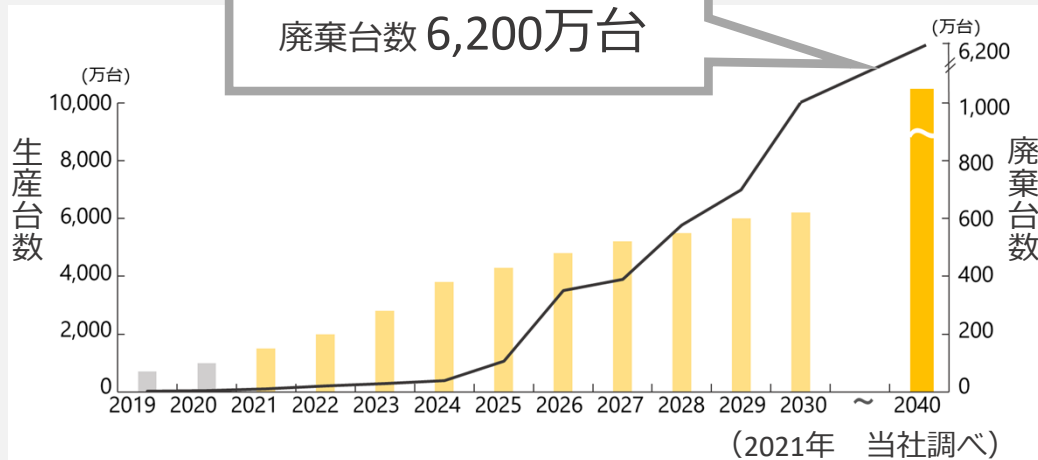
事業概要 LiB再生事業③ EV市場の広がりとしサイクル



電動車の需要は今後より高まっていく
⇒車載用LiBの需要も高まる

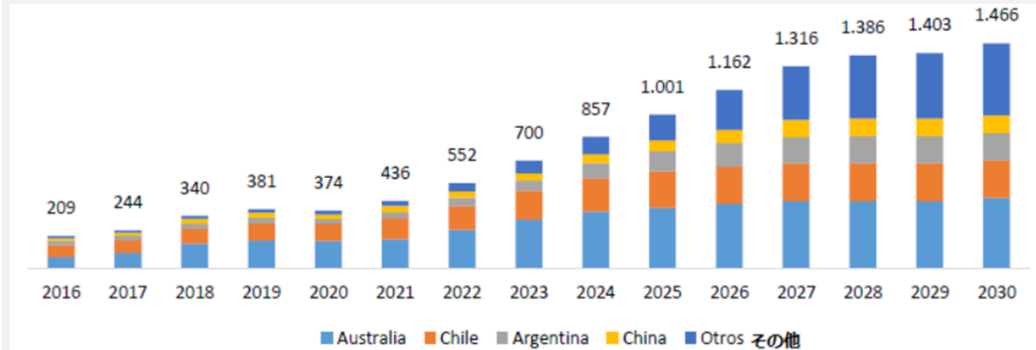
(引用：経済産業省「蓄電池産業戦略中間とりまとめ 2022.4.22」)

生産台数 1億台
廃棄台数 6,200万台



世界のリチウム需要は2030年までに
179万トン/年に達する予想
⇒2020年現在の42.9万トン/年の4倍以上にもなる
(引用：COCHILCO 2020.8.27)

その一方で、2030年の供給量は
需要量に追い付かないと予想



各国のリチウム供給量予想 (千トン LCE)

(引用：JOGMEC「2030年にかけてのリチウムの需要と供給 (チリ銅委員会)」)

EUでは「電池規則案」を立案

⇒「リサイクル材使用率の開示義務化」、
「特定資源 (Li, Ni, Co等) の回収率を定める」など諸規定を設ける

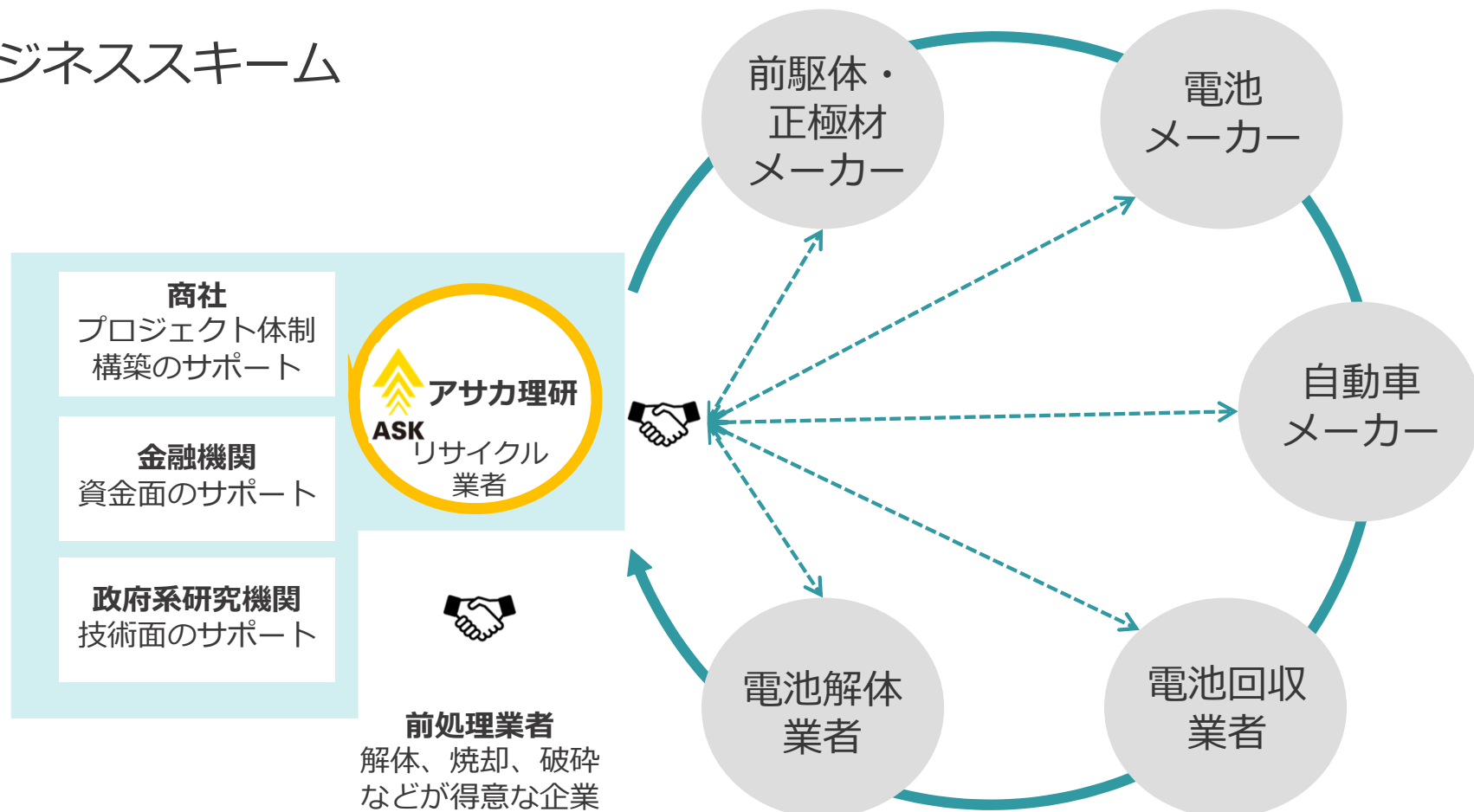
LiB生産過程における原料リサイクルの重要性が高まっている

事業概要 LiB再生事業④ スキーム



- 「リチウムイオンバッテリー（LiB）再生事業」
⇒役目を終えたLiBスクラップから、リチウム、コバルト、ニッケルをはじめとするLiB原料の回収・再生を目指す。

□ ビジネススキーム

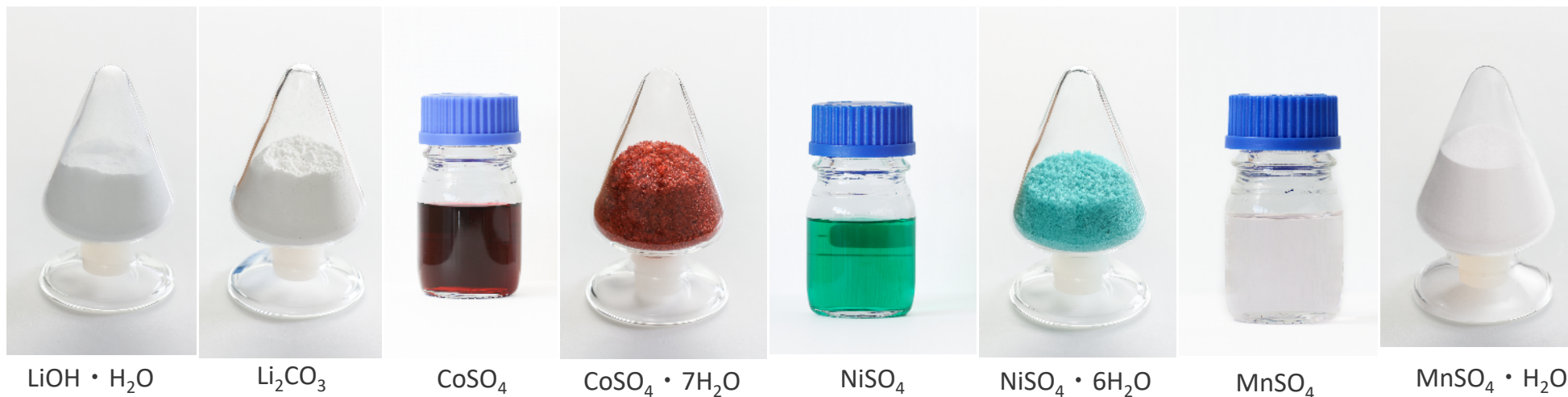


□ 開発スケジュール



□ いわき工場について 2023年春頃 試験生産開始

リサイクル製品一覧



1. 会社概要
2. 事業概要
3. LiB再生事業
- 4. TOPICS**
5. 株主還元

□ ブランドコンセプト

Circulate the possibilities

資源の可能性を再発見し、循環させる。

□ 背景

1969年の創業から取り組んできた、「資源の有効活用」を軸とする事業は、昨今の環境保全に対する世論の高まりから注目を集める

⇒新規事業は世の中のニーズに合致

⇒「ビジョン・戦略」として掲げるブランドステートメントを新しく制定し、併せてコーポレートサイトのリニューアルに至った

□ メインビジュアル



代表取締役社長 油木田 祐策



□ 新設ページ

ビジョン・戦略

- 「アサカ理研」らしさを表すブランドコンセプト、ステートメント
- 新しく立ち上げていくLiB再生事業
- 増設されるいわき工場

⇒新事業に対する思いや、レアメタルを取り巻く環境について。

サステナビリティ

- 「環境への配慮」、「社会への取り組み」、「ガバナンス」3つのカテゴリからなり、今まで不足していた非財務情報を補完

⇒当社事業がSDGsに則していることのアピール。

□ 新仕様

スマホサイズ対応

- 画面サイズに応じ画像、テキストが最適化される仕様を追加



- 外出先やタブレットでもHPを閲覧できる

⇒当社魅力が伝わるコーポレートサイトへの変革
逐次情報を更新し、適切な情報開示を行う

□ 新社屋の竣工



2022/5/12
新社屋（第一本社棟）竣工

- 「LiB再生事業」の統括を行う
コントロールタワーとして竣工
- アサカ理研グループリノベーション
計画の第1弾であり、今後は本社工場、
及び富久山工場のリノベーションも
計画されている。
- 本社事務所は名称を「第二本社棟」へ
変更し、製造事務所機能を吸収

<建物概要>

建築面積：444.96m² 延べ床面積：859.76m² 構造：鉄骨造 階数：2階

□ 新社屋の特徴

エントランス

- フレッシュさ、若々しさなどをイメージさせるエントランス
- 自動受付機の導入
- デジタルサーネイジによる情報発信



太陽光パネル

- 新社屋屋上に太陽光パネルを設置
 - 自社内で使用の電力を一部賄う
- ⇒CO₂排出量削減に貢献



急速充電器

- EVの需要増に併せ、充電設備を導入
- ⇒EV普及の一助として貢献





内堀福島県知事より表彰を受ける社長の油木田

2022/3/14
福島民報社主催「ふくしま産業賞」
最高賞 福島県知事賞 を授賞

有限である資源の活用方法について
早くから取り組んでいた先見性、
LiB再生事業の将来性が評価された



賞状パネル（左）と盾（右）

■ 「ふくしま産業賞」とは
福島県内で独自技術を持つ企業や伝統を守り地域
性豊かなものづくりを続ける人材などに、社会的
な評価を与えることを目的とした賞

1. 会社概要
2. 事業概要
3. LiB再生事業
4. TOPICS
5. 株主還元

1. 株主還元に関する目標

- 中長期的な企業価値向上 = **株主利益の最大化**
- ROE10%の継続維持、安定配当



株主還元

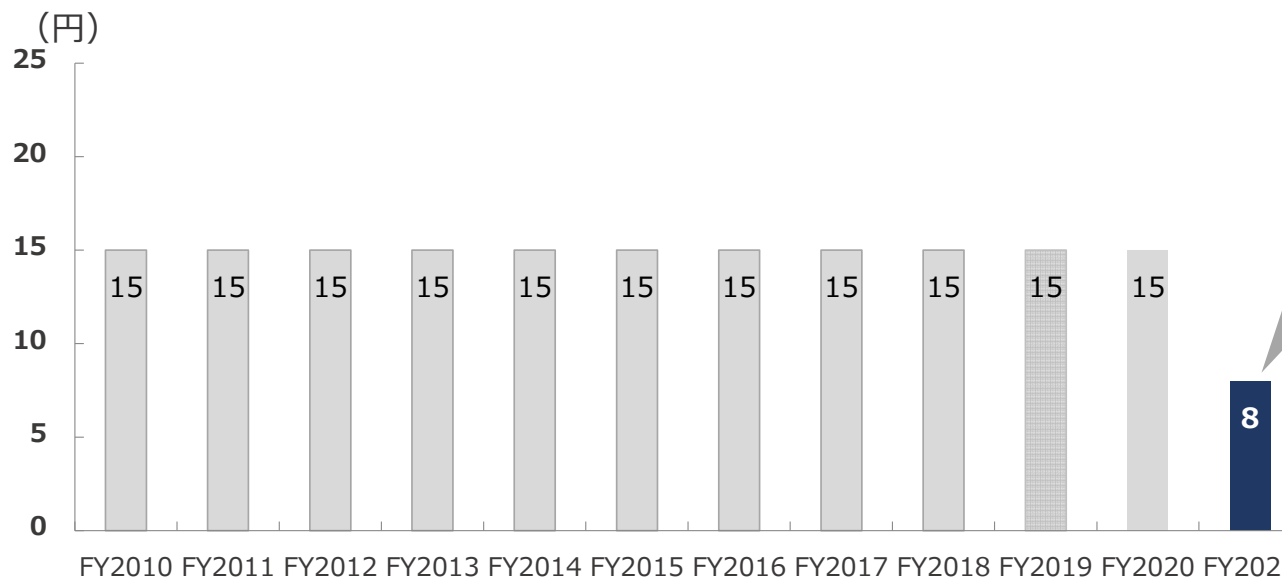


成長

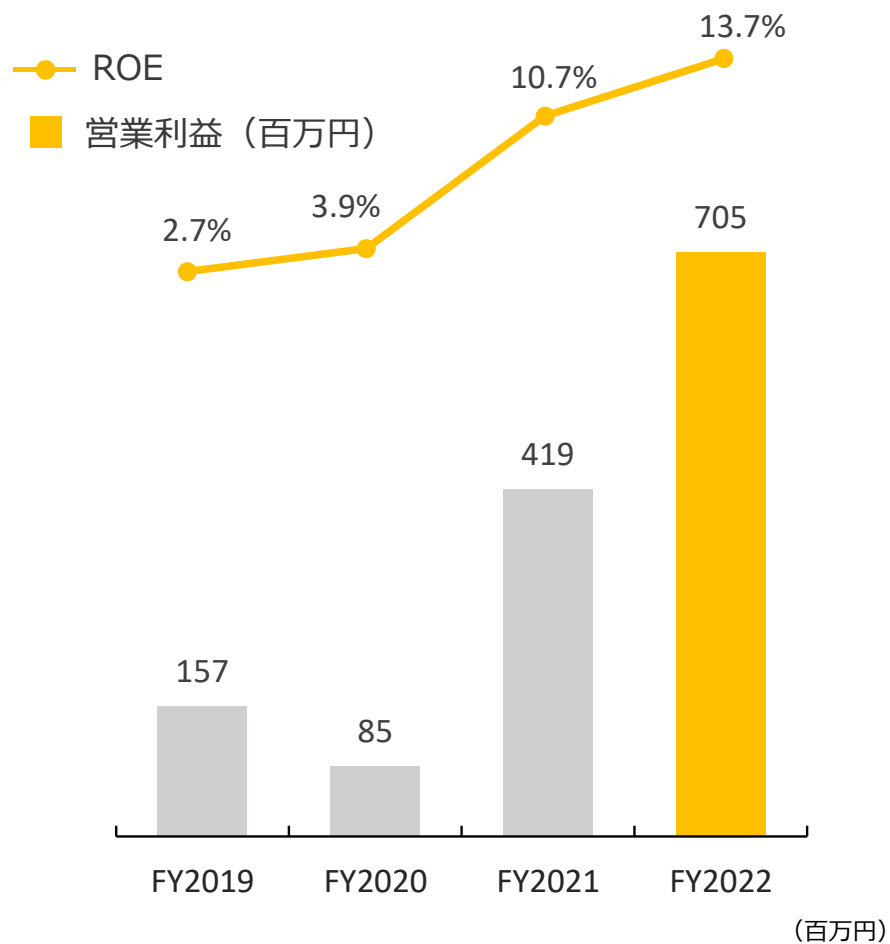


安定性

2. 配当実績



2021年
株式分割
(分割比率1 : 2)



	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022
ROE	2.7%	3.9%	10.7%	13.7%
営業利益	157	85	419	705

基準とする経営指標

ROE 10%

- 2022年9月期予想ROE **13.7%**
- 資本効率を意識した経営を実践
– ROE 10%の継続維持
- 事業成長にあわせ資本政策を実施しつつ、さらなる収益力の向上を目指す



ASK

株式会社アサカ理研

- 本書には、当社及び当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っています今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 本書はいかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付の申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

<IRに関するお問い合わせ先>

株式会社アサカ理研

管理本部 経営企画部 経営企画室

〒963-0725

福島県郡山市田村町金屋字マセ口47番地

TEL : 024 (944) 4744

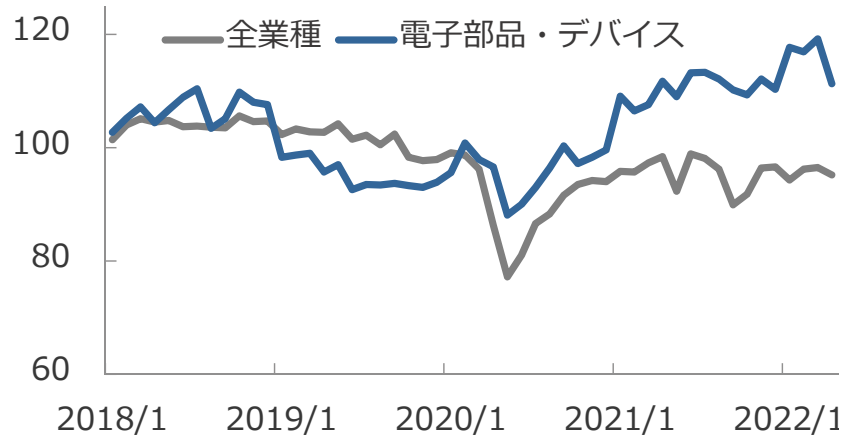
FAX : 024 (944) 4749

E-MAIL : ir@asaka.co.jp

URL : <http://www.asaka.co.jp/>

株式会社アサカ理研

鉛工業生産指数



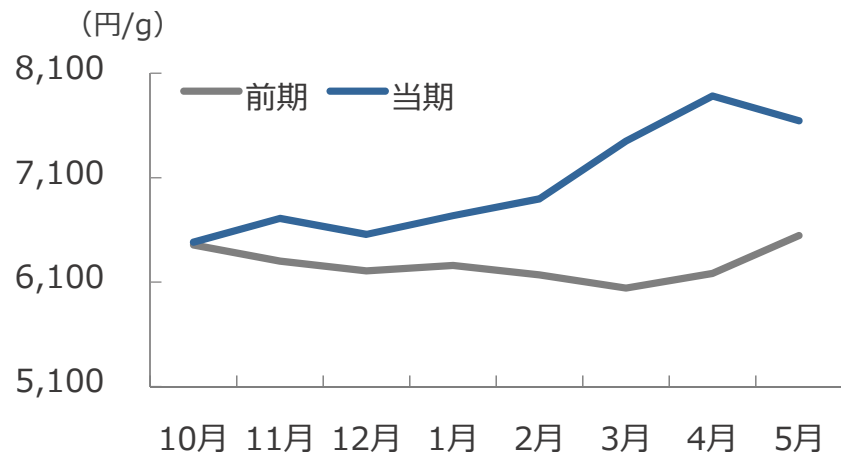
出所：経済産業省 鉛工業指数（生産・季調済）

為替相場



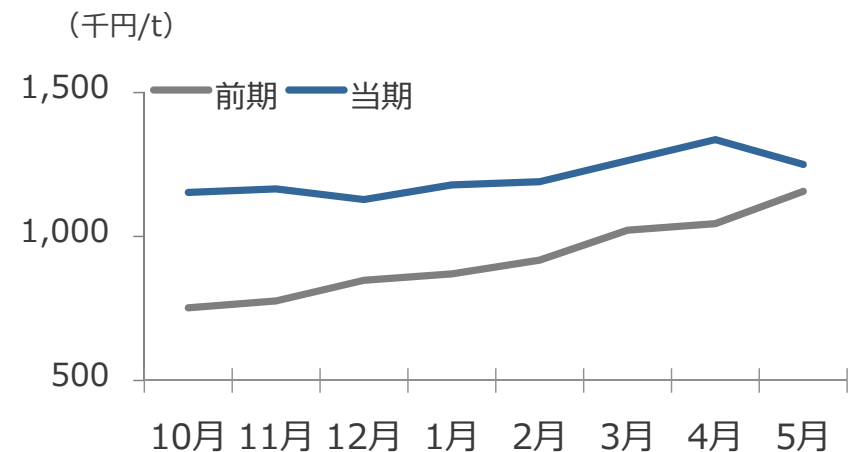
出所：日本銀行（東京市場 ドル・円スポット中心相場/月中平均）

金価格



出所：田中貴金属工業株式会社

銅建値

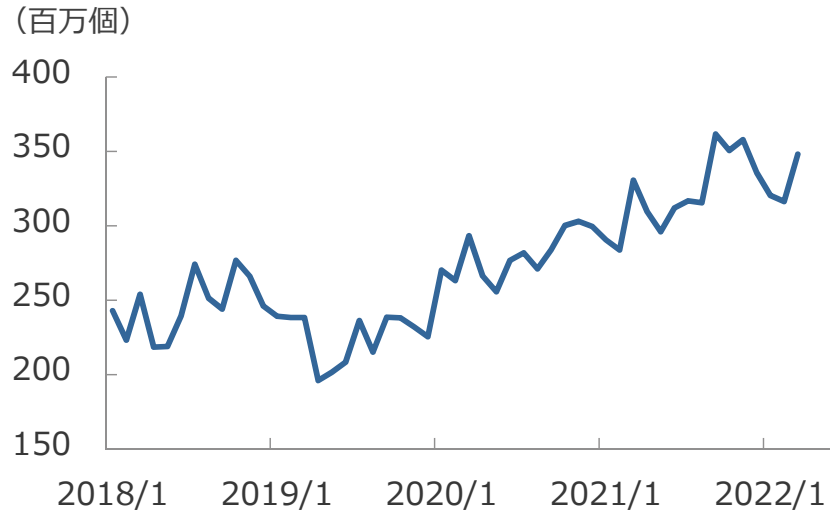


出所：JX金属株式会社

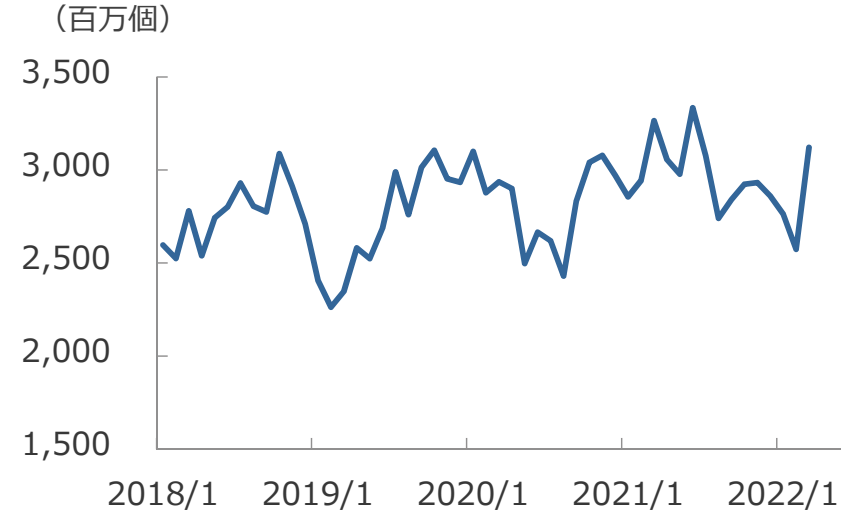
APPENDIX 業界別生産実績



水晶振動子



コネクタ



半導体集積回路

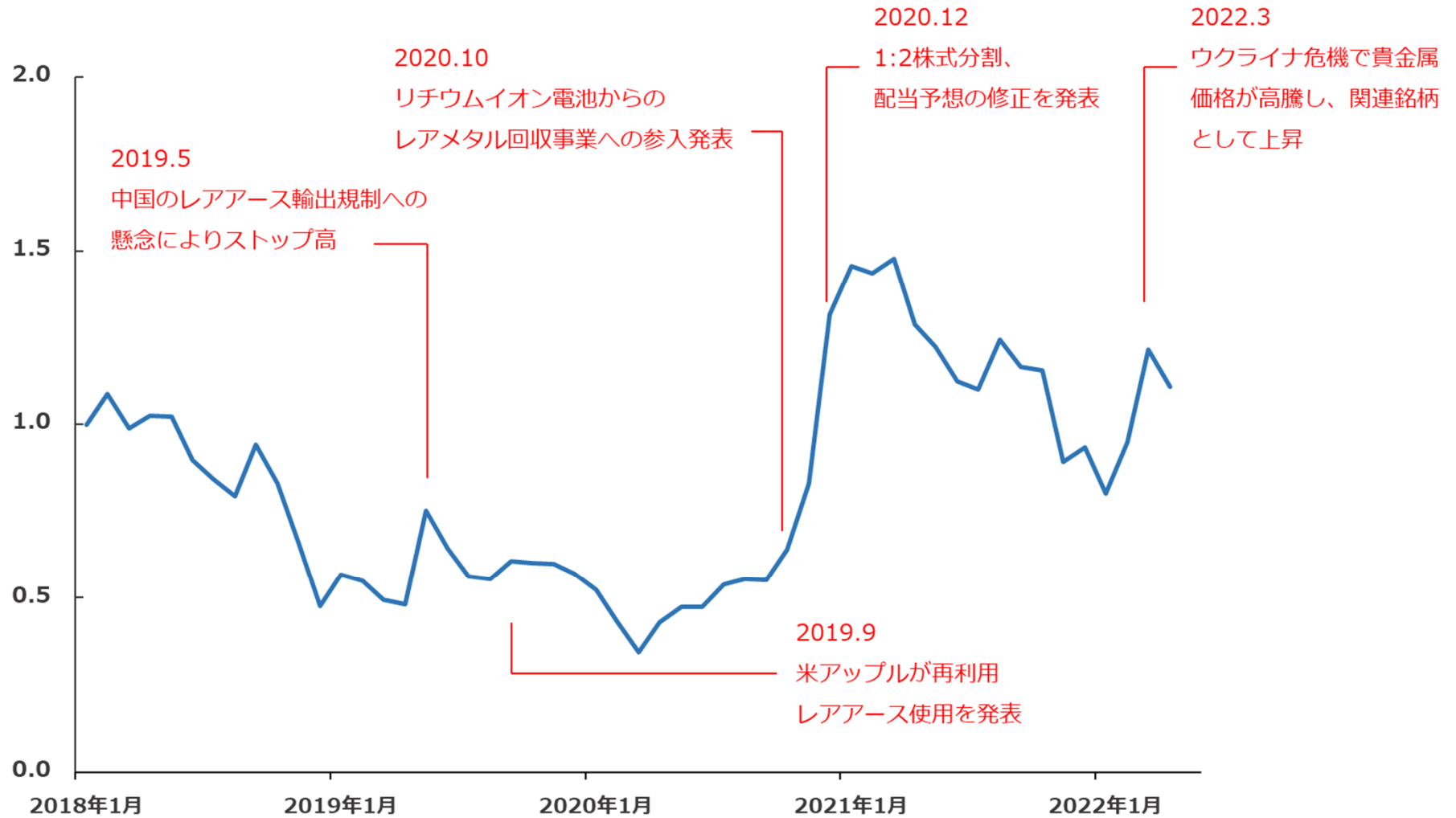


電子回路基板



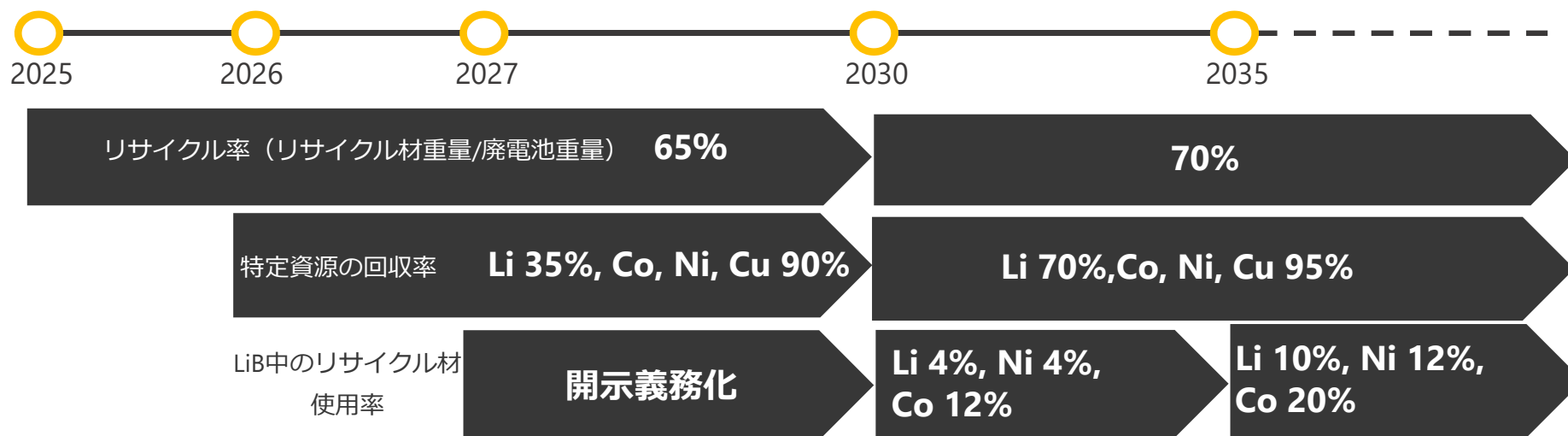
出所：(社)電子情報技術産業協会

APPENDIX 株価推移



※ 2018年1月 = 1.0 として算出

APPENDIX EU電池規則案



EU電池規則案：EV電池のリサイクルに関する欧州委員会提案内容
⇒2022年1月から適用予定だったものの、引き続き審議中

引用：NEDO「再生可能エネルギー時代における資源獲得競争」
<https://www.nedo.go.jp/content/100945378.pdf>